

目次

目次	1
ごあいさつ	2
I 沿革	3
II 動向	4
III 活動記録	
1. 展覧会	6
2. 教育普及	
1. 講演会	20
2. 展示解説	21
3. 子ども参加プログラム・一般来館者向けプログラム／ワークショップ	23
4. 市民サポートスタッフ	26
5. 客員研究員	26
6. 館外活動	26
7. 映像コーナー	29
8. 図書コーナー	29
3. 収集・保存	
1. 収蔵作品数	30
2. 保存修復作品	30
3. 貸出事業	31
4. 調査・研究	
1. 刊行図録	32
2. デジタルアーカイブ	32
3. アンケート概要	33
5. 広報・宣伝	36
6. 共催・連携	36
7. 企画協力	38
IV 資料	
1. 施設概要	39
2. 利用案内	39
3. 組織及び職員名簿	39
4. 入館者数	40
5. 美術館設置条例	40
V 鏑木清方に関する資料	
1. 鏑木清方に関する文献目録	42
2. 鏑木清方に関する展覧会記録	65

ごあいさつ

鎌倉市鐮木清方記念美術館は、近代日本画の巨匠 鐮木清方の業績を広く後世に伝えるため、ご遺族から鎌倉市へ寄贈された旧居と美術作品・資料をもとに平成 10 年 4 月に開館しました。

このたび、平成 31 年(2019 年)4 月から令和 2 年(2020 年)3 月まで、令和元年度に実施した事業を中心に、活動の記録をまとめました。

当年度の活動として、展覧会事業においては、特別展では清方と同世代の画家やゆかりの深い三遊亭圓朝、泉鏡花に関連した展示を行い、清方作品とともに関わりのある作家の作品を紹介しました。普及事業はワークショップやイベントを通して、日本画を身近に知り、興味を深めていただく機会をつくり、調査研究事業は収蔵品データベースをホームページで公開するなど、鐮木清方の幅広い創作活動を紹介し、清方芸術の魅力を伝えてまいりました。

また、令和元年 6 月には清方の代表作である《築地明石町》を含む 3 作品が 44 年ぶりに再発見されたことから、注目が集まりました。東京国立近代美術館に収蔵となった作品は秋に公開され、当館では所蔵している 3 作品の下絵を期間限定で公開しました。

令和元年度末には新型コロナウイルスの感染拡大によって臨時休館したため、予定していた展覧会は中止になるなど、美術館の運営に大きな影響がありました。

今後も工夫を重ね、鐮木清方の芸術および日本画の普及に一層力を尽くし、清方の貴重な遺産を継承するため努めてまいります。

これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 3 年 3 月

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団
鎌倉市鐮木清方記念美術館

I 沿革

- 平成 2、3 年頃 山田肇氏(鏑木清方の娘婿。当時 明治大学名誉教授、演劇評論家)が、鏑木清方の作品の散逸を防ぎ、その業績を永く後世に伝えるため、清方の終の棲家となった土地、建物及び所有する作品等を活用した記念館の設立等について、横浜美術館等に相談。その意向は鎌倉市に伝えられ、市が受け入れ等の準備を始める。
- 平成 5 年 10 月 8 月に急逝された山田氏のご遺族より、寄贈の意向が鎌倉市に正式に伝えられる。
- 平成 5 年 11 月 寄贈作品・資料等が横浜美術館の収蔵庫に移され、調査が始まる。
- 平成 6 年 3 月 遺族から土地(955.27 m²)、建物(214.11 m²)及び作品の一部(26 点)が鎌倉市に寄贈される。
- 平成 6 年 6 月 作品の一部(14 点)が追加寄贈される。寄贈の手続きは以降 5 回にわたり実施。
- 平成 6 年 7 月 「(仮称)郷土記念館・美術館基本構想検討委員会」設置。座長は鎌倉風致保存会会長の上野豊氏。以降計 6 回の検討会を経て基本構想がまとめられる。
- 平成 6 年 10 月 「受贈記念 鏑木清方展」を鎌倉国宝館にて開催。
- 平成 7 年 6 月 (仮称)郷土記念館・美術館基本構想検討委員会報告書提出。
展示設計委託、基本設計、実施設計、地質調査委託、近隣住民調整を実施。
- 平成 7 年 鏑木清方の旧宅解体が決定。美術館としての機能を備えるために、老朽化した既存建物を活用する方針を変更。
- 平成 7 年 12 月 鎌倉市議会で補正予算が承認される。(建設工事費・家屋解体工事費・家屋事前調査費)
- 平成 8 年 2 月 鏑木清方旧宅解体。
- 平成 8 年 4 月 着工。
- 平成 9 年 8 月 横浜美術館に保管されていた作品の鎌倉文学館、鎌倉市立図書館への移管を開始。
建物竣工。
財団法人鎌倉市芸術文化振興財団へ施設管理委託。外構・庭園の工事实施。
- 平成 10 年 3 月 工事竣工
- 平成 10 年 4 月 17 日 鎌倉市鏑木清方記念美術館開館。開館記念式典開催。

Ⅱ 動向

- 2019年4月2日 親子・子ども参加プログラム「屏風に日本画材を使って絵を描こう！」を実施。
- 2019年4月3日 親子・子ども参加プログラム「木版画の多色摺り技法を体験しよう！」を実施。
- 2019年4月6日 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館との連携事業「鎌倉文化ゾーン〔小町通り・八幡宮エリア〕 鎌倉ミュージアムめぐり スタンプラリー」を実施。(前期:10月5日まで)
- 2019年4月18日 特別展「清方と金鈴社の画家たち ～吉川靈華・結城素明・平福百穂・松岡映丘～」(5月22日まで)
- 2019年4月23日 当館スタッフによる市民講座を実施。(1日1回、27日まで)
- 2019年5月1日 改元記念展示解説を実施。(6日まで)
- 2019年5月14日 地下道ギャラリー50に春休み親子・子ども参加プログラムの作品を展示。(21日まで)
- 2019年5月18日 日本画ワークショップ「岩絵具を使って日本画を描こう！」を実施。
「国際博物館の日」記念事業(展示解説)の実施。
- 2019年5月25日 特別展「三遊亭圓朝生誕180年記念 清方と江戸の粋 ～三遊亭圓朝とのかかわり～」(6月30日まで)
- 2019年6月3日 美術講演会「文明開化に生きる三遊亭圓朝 ～鏑木清方とのかかわりとともに～」(講師:須田努氏)を開催。
- 2019年6月5日 8日、14日との計3回、NPOとの連携事業「鎌倉の紫陽花と美術館を巡ろう」を実施。
- 2019年6月16日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、団扇に絵を描こう！」を実施。
- 2019年6月28日 泉鏡花没後80年記念のタイアップ企画として、有隣堂テラスモール湘南店で泉鏡花フェア対象書籍購入者に当館の絵はがきプレゼントを実施。(7月11日までと8月16日から29日まで)
- 2019年7月5日 泉鏡花没後80年記念のタイアップ企画として、109シネマズ湘南『天守物語』『日本橋』チケット半券提示による入館料割引を実施。(12月1日まで)
- 2019年7月6日 企画展「清方、若き日の歩み ～明治・大正の画業を中心に～」(8月25日まで)
「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8月25日まで)
展覧会関連事業として浴衣での来館者向けへ「浴衣で楽しむ美術館」を実施。(8月25日まで)
- 2019年7月24日 25日、8月2日との計3回、子ども参加プログラム「日本画材を使って絵巻物を描こう！」を実施。
- 2019年7月26日 8月1日との計2回、子ども参加プログラム「浮世絵の多色摺り技法を体験してみよう！」を実施。
- 2019年7月31日 NPOとの連携事業「親子で美術館へ行ってみよう！」を実施。
- 2019年8月31日 企画展「清方と弟子たち ～受け継がれる美～」(10月22日まで)
9月1日との計2日間、先着25名の来館者に「鏑木清方誕生日記念！フルカラー図録プレゼント」を実施。
- 2019年9月3日 地下道ギャラリー50に夏休み子ども参加プログラムの作品を展示。(9日まで)
- 2019年9月21日 日本画ワークショップ「日本画材を使って円や扇型の画面に絵を描こう！」を実施。
- 2019年10月5日 6日との計2回、日本画制作実演(講師:長谷川幾与氏)を実施。
「ミュージアムめぐり スタンプラリー」の連携企画としてトークイベント「リニューアル」を実施。

- 2019年10月12日 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館との連携事業「鎌倉文化ゾーン〔小町通り・八幡宮エリア〕 鎌倉ミュージアムめぐり スタンプラリー」を実施。
(後期:2020年3月21日まで)
- 2019年10月20日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、短冊に絵と詞(ことば)を描こう!」を実施。
- 2019年10月26日 特別展「泉鏡花没後 80年 清方と鏡花 ～ふたりで紡ぐ物語の世界～」(12月1日まで)
泉鏡花没後 80年を記念した鎌倉市川喜多映画記念館との連携事業として相互割引を実施。(12月1日まで)
- 2019年10月27日 11月30日との計2回、泉鏡花没後 80年記念の川喜多映画記念館との連携事業として、2館の学芸員による展示解説ツアーを実施。
- 2019年11月4日 泉鏡花没後 80年を記念した鎌倉市川喜多映画記念館との連携事業として、「『星あかり』朗読イベント+妙長寺見学ツアー」(朗読:奈佐健臣氏)を実施。
- 2019年11月12日 美術講演会「幻妖の美を求めて ～鏡花の文学、清方の絵画」(講師:東雅夫氏)を開催。
- 2019年11月16日 日本画ワークショップ「胡粉を使って、日本画を描いてみよう!」を実施。
- 2019年12月1日 鎌倉市川喜多映画記念館、北鎌倉 葉祥明美術館との連携事業「ヨガインストラクターと歩く 鎌倉美活ウォーク」を実施。
- 2019年12月6日 企画展「清方、新春を寿ぐ」(2020年1月13日まで)
「《築地明石町》《新富町》《大川端》 下絵 3点特別展示」を実施。(15日まで)
- 2020年1月4日 新春福引きを実施。(13日まで)
山口蓬春記念館との連携事業「日本画の美術館を巡ろう! 鏑木清方・山口蓬春」を実施。
(2月29日まで)
- 2020年1月17日 企画展「物語に魅せられて ～清方の芝居絵を中心に～」(2月25日まで)
- 2020年2月25日 ホームページ上に2017年度までの「年報・紀要」を公開。
- 2020年2月28日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館。
「ミュージアムめぐり スタンプラリー」ほか実施中及び実施予定のイベントも中止。
- 2020年3月 ホームページ上に「収蔵品データベース」を公開。